

# 女子高生

附設高校演劇部  
岡崎賢一郎

作

## □登場人物

樋口 聡美 (さとみ)	附設高校2年B組	女子
荒木 和佐 (かずさ)	附設高校1年A組	男子
西田 心 (こころ)	附設高校2年B組	女子
楠元 凌子 (りょうこ)	附設高校2年D組	女子
中村 光沙 (みさ)	附設高校1年C組	女子
黒川 鈴 (すず)	附設高校2年A組	女子
樽見 啓恵 (あきえ)	附設高校1年D組	女子
岩崎 雅 (みやび)	附設高校2年A組	女子
山口 優 (ゆう)	附設高校2年D組	女子
野口 瑞希 (みずき)	附設高校1年A組	女子
友松 雅琴 (まこと)	附設高校1年A組	女子
中部 文 (あや) 先生	附設高校国語科教師	

\*男性は女性が、女性は男性が演じること。

\*上演時、高校生は制服を着用すること。

## ■久留米大学附設中学・高等学校

〒839-0862 福岡県久留米市野中町20-2 0942-44-2222 (代)

1950年(昭和25年)久留米大学商学部構内に設立。「国家社会に貢献しようとする為他の気概を持った誠実・努力の人物の育成」を建学の精神に、徳性の涵養と優れた学力を身につけることを教育の目標とする。1969年(昭和44年)、附設中学校設立。中高一貫教育発足。全国でも有数の女子進学校として有名。部活動にも力を入れており、テニス部・演劇部・陸上部・デイベート部・クイズ研究部・囲碁将棋部などが全国大会に出場した。

学校設置以来女子のみの採用であったが、2013年(平成25年)より男女共学開始。

ここは創立60周年を超える、格式高いお嬢様学校

……だったのに。

## 「プロローグ」

音楽カットイン「ガンバレ乙女」(アイドリング!!!)

幕が上がる。

照明

8月 暑い ある日の午後。

久留米大学附設高校・3階のある教室。

机椅子が整然と並んでいる。

南側(上手)は窓。遠くに高良山が見える。下は裏山。

北側(下手)は廊下。窓の位置は高い。

西側(舞台奥)に教卓・教壇。ゴミ箱。

教室の中央で、女子高校生(さとみ)が携帯を見ている。

音楽は、youtubeのようだ。

さとみ がんばれ乙女 ……か。

さとみ、携帯を切る。それと同時に音楽も消える。

さとみ、机に突っ伏す。

さとみ ……ガンバレって言われても、……ねえ。。。

教室の前から、女子高校生(こころ)がやってくる。

こころ、さとみを一瞥。

こころ ……寝てんの? ……一人?

さとみ ガンバレって、さ、言われても。何ガンバレばいいのかわかんないっての。ねえ

こころ 何。

さとみ 女子高生。

こころ 意味わかんない。他の人は?

さとみ ……

こころ ったく。ミーティングするって言ったのに。

さとみ 忙しいんだよ、いろいろ。

こころ そーかもしれないけどさ、大会もぼちぼち考えないと。最後なんだし。

さとみ まーね。……台本どーなってる?

こころ みやびが途中まで書いたって。で、今日は、そこまでの確認とか。

さとみ ……

こころ でき、さとみ、いろいろ考えてたんだけど、今年は、今年こそはさ、うちら二年の最後の大会

だから、県大会は絶対で、できれば九州大会まで行きたいよね。

さとみ 行ければね。県大会とか、マジできつって。強い学校あるし、筑後地区って。

こころ でも、県大会まで行かないと、……お泊まりないよ。

さとみ ええーお泊まりしたい!!!

こころ でしょ。だから県大会!!! んで、みんなホテルとか泊まって、夜まで語りあったりなんかしちやったりして。

さとみ いいねえー！ 枕投げとか。あと、好きな男の子の話とか。

ころろ いんの？好きな男。

さとみ 女子高だよ、ここ。

ころろ 昨年までね。でもさ、ホントにしたいな、お泊まり。

さとみ んでさ、県大会でもうまくいって、九州大会！！とかなっちゃったら、どーする！？

二人 おおー！（興奮）

ころろ だから、ミーティング。ってかさ、（教室の外を窺う）みんな遅すぎ。何してんだろ。

さとみ あー、でもさ、もし県大会にいけないに地区大会で終わったら？

ころろ 引退。

さとみ 引退！？ うそー！？ 部活やめんの？

ころろ 大会終わった時点で、引退。んで、勉強。大学受験。

さとみ ヤダ。絶対ヤダ！！

ころろ そんなこと言ったらって高2なんだから。 附設だし。

ころろ、教室の窓の外に立つ人影を見つける。

ころろ、教室の入り口に向かう。

さとみは気付いていない。

さとみ

でもさ、受験勉強とか、全然ぴんとこないって言うか、卒業して何になるかとか、全然わかんないし、……この後さ、私どうなるんだろうって。……で、なーんかやる気がでないというか、何というか。

教室の外には、……バックを担いだ男子高校生（荒木）

さとみ ころろ、……女って、何？

さとみ、ころろを見る。

ころろ、教室のドアを開ける。

荒木が立っている。おどおどとしている。

ころろ え、と、 何？

荒木、おどおど。

さとみも立ち上がり、荒木のもとへ。

荒木 あの、ここ、演劇部、

さとみ あー、うん。

荒木、決意を固める。

さとみを見て、勇気を振り絞って、

荒木 僕、演劇部、入ります！

音楽カッティン

照明

女子高生達のダンス。華やかに。

## 「シーンI」

教室の黒板の前に、中部先生が立っている。

それを取り囲むように、教室に女子高校生たち（さとみ・こころ・りょうこ・すず・ゆう・みさ・あきえ）

音楽カットアウト

中部　　ということで、男子が演劇部に入ります！

間

一同　　ええー！！！

こころ　　どういうことですか？　なんで演劇部に男子？

すず　　ホントにはいるんですか？　ホントに？

りょうこ（りよこ）　　なんで嬉しそうなのよ。

すず　　別にー！

中部　　あのね、今年から共学したでしょ。だから、男の子もたくさんいるし、男と女、助け合って生きていくことが、今の社会

こころ　　「たくさん」

みさ　　14人です、高1Aだけだから。学年200人のうちで、14人。……久留米大学附設中学・

高校併せて1000人。1000人で　　14人。

中部　　人数はおいおい多くなっていくでしょ。いきなり女子高だつてのが半分男子！にはならないから。でも、徐々にそういうふうになっていくのが、附設の目指す教育

さとみ　　そこなんですよね、　　なんで附設が共学化しちゃったのか。　　女子高で全然よかったのに。

一同頷く。

中部　　男子いたほうが、楽しいでしょ。

りよこ　　全然。つてか、男いないから附設選んだのに。

こころ　　そうなの？

りよこ　　もちろん。男いらない。

こころ　　あ、……うん。

あきえ　　私は、男ほしい。

さとみ　　……その発言はかなりやばいな。

あきえ　　だって、彼氏とか、ほしいし。　　いちやいちやしたりー！

一同固まる。

りよこ　　きもい。

一同気持ち悪がる。

あきえ　　ええー！　　誰だって、したいでしょ、なんか、一緒に自転車通学、みたいな。二人乗りで後ろ

から、彼氏にギョって（とすずに抱きつく）。やばいー！！！

中部　　自転車の二人乗りは校則違反です。

さとみ　　つてか……どんな妄想だよ！！

すず　　まあ、あつきーがそういうのに、ちょっと懂れるのはわかんなくもないけど。

あきえ　　ですよね！

こころ　　で、そんなことはどうでもいいんですけど、……なぜに演劇部。

中部　　何が？

こころ 演劇部に、……男子が入るって。  
中部 そ！ 私、高1の授業担当してるんだけど、高1Aの担任の先生から、演劇部に興味がある男の子がいるんだけど、って聞いて。

すず (馬鹿にして) 演劇に興味もつ男子とかいるんだ。  
ゆう 1年A組2番 荒木くん。荒木和佐くん。

こころ ……詳しいな。

中部 その荒木君をよんで、いろいろ話して、どーするみたいな話になって、 結局……無理矢理部員にしちゃいました！！！！ いえーい！！！！

一同 ……いやいやいやいや

さとみ 無理矢理???

中部 半ば強引に。演劇部入りなさい、学校命令です。従わなかったら退学ですって。だって、附設は「男女共同参画社会に貢献する学校」なんだから。

さとみ 「男女共同参画社会」? 何それ。

中部 女の私たちが、男との人と協力して、一緒に平等な社会を作っていくましようっていう。

りよこ そんなの、……無理じゃん。いっつも女子って

中部 時代は変わっていく。そうでしょ? だから、附設も共学になったんじゃない。

さ・り ……

りよこ、ふてくされて座る。

中部 演劇部に男の子を入れるのは、生徒指導部の決定です。……ということ。じゃあ、後はよろしく。

こころ そういえば、先生。今年は先生は。

中部先生、振り返って、言いくそうに。

中部 私、今年は、ちよっと。それに、今年はみやびさんが書いてるんでしょ?……なので、みんなに任せます。部長、頑張ってね。

こころ ……はい。

中部先生、軽やかに去っていくようにする。

さとみ あの、先生 (上を指さして) エアコン。6時まで。

中部 ああ、うん。事務室に言っておく。

さとみ お願いします。

中部先生、軽やかに出て行く。楽しそうだ。  
残された女子高生。

一同 男かー！ー！ー！

すず どんな感じだったの?

さとみ 何が?

すず 昨日会ったんだよね、さとみ。その

ゆう 荒木くん 和佐。

さとみ どんな感じっていわれても、……細かい? メガネ掛けてて。勉強出来る感じの。

ゆう うん。

さとみ みさちゃん。荒木くん。

みさ A組とBCDEは、基本接点ないんですよね。外部中出身のノリとか違うし。

すず 荒木くんって、どんな人なんだろ。

こころ 今日から来るって。練習。昨日はなんか用があるから帰らなくちゃいけないけど、今日は来るからって。

りよこ 今日から? 来るの?

こころ うん。ほら、地区大会のこともあるし。

りよこ 今日から、ここに男子くるんだ。

一同、教室を見渡す。

一同 えええー！  
さとみ やっぱさ、ありえないよ、男子。ここに来るんだよ、男が。  
ころろ ……うん。  
さとみ もお、全然考えられない。  
すず 男子くるなら一応…掃除とか、…しとく？  
みさ そうですね。…さすがに。  
すず だね。  
ゆう 箒取ってくる。

ゆう、教室を出て行く。

一同、教室に落ちているプリントやパンの空き袋などを拾い、ゴミ箱に捨てている。

と、ブーンと音を立て、エアコンが作動する。

さとみ あ（上を向く）エアコン、ついた。  
みさ 窓、閉めます？  
さとみ そうだね。

みさ、ゆう、さとみ、窓を閉める。

さとみ エアコンないと、やっぱり死ぬね。スカート蒸れるし。

さとみ、スカートをバタバタする。

すず さとみ！  
さとみ いいの、ここ女子校だから。  
ころろ 去年まで。  
さとみ ……（スカートをおろす）はあ。

ゆう戻ってくる。

ゆう ただいまー（と箒にまたがって帰ってくる）  
ころろ おかえりー って何してんの  
ゆう いや、なんか箒見ると、つい空飛べるような  
さとみ あ！！！！ 今、すっごいこと思い出した！！  
すず 何、いきなり。大声。  
さとみ 地区大会。地区大会！！  
すず どうしたの？  
さとみ 出すの？その…荒木くん。  
りよこ ださないよ。  
ころろ うん。…でも中部先生  
りよこ 無理だつて。絶対。…っつか、出すんだつたら、私でない。  
さとみ 私も。  
あきえ 出たい！ 私が、荒木君の彼女役で。  
ころろ みやびの台本そんなじゃない。男そもそも出てこないし。  
りよこ じゃあ、無理じゃん。  
あきえ えー（しゅんとする）

ばたばたとみやびが教室にやって来る。  
カバン・プリントの束を抱えている。

みやび　ごめーん、遅くなった。コピー調子悪くてさ。ようやくできたよ、台本。じゃーん（と披露する）

すず　あのさ、みやび、みやびの台本、……男でる？

みやび　……え、何。男？　そんなの出るわけないじゃん（切れ気味）。え、何、男役したいの？  
女の子が男役したって不自然だって、去年審査員にさんざん言われたの忘れたの？

と突然、荒木がばたばたと駆け込んでくる。

大きいゴミ袋を二つ抱えてやってくる

女子高生たち、一斉に荒木から離れ、固まる。

荒木　あの、遅れてすみません。

しーん。

荒木　あの、すみません、遅れて。

しーん。

荒木、みんなの視線がゴミ袋にあると気付く。

荒木　あ、これ、ごめんなさい、気にしないで下さい（と隠そうとするが、隠せない）……今日、教室掃除で、ゴミたまってる。で、誰が捨てるか、じゃんけんを。

さとみ　（独り言のように）負けたんだ。

荒木　勝ったんです！けど、負けた女の子が重くて持てないって。……下行くなら、ついでにっってお願ひされて。……すみません、ホント気にしないで下さい。

りよこ　気にするなってほうが無理でしょ、それ。

こころ　あの、……よかったら、先に。

荒木　いいんですか？　部活始まるのに。

こころ　うん、……とりあえず、それ、捨ててきたほうが、なんか、いいと思うよ。

一同　（固まったままで）うん。

荒木　分かりました。すぐ帰ってきます。すみません。

荒木、ばたばたと出て行く。

女子高生、荒木の姿を追い、見えなくなったところで、

一同　おいおいおいおい

さとみ　どういうこと？　全然意味わかんない。男なのに、ゴミ捨て押し付けられてるじゃん。

りよこ　あれ？　ホントに？

こころ　うん。

みやび　さっきの誰？

さとみ　なんかさ、男入るんだって、演劇部に。で。

みやび　ええええー！　ホントに？

ゆう、ほうきに乗って出て行こうとする

さとみ　何してるの。

ゆう　偵察してきます（出て行く）

さとみ　意味わかんない！！



と混乱の極み。

あきえ (首を振る) でもさ、……したね、男のニオイ。

間

みさ ええー  
あきえ しなかった？ニオイ。  
みさ したもしいないも、においなんか嗅いでないよ！ たんなる変態じゃん、それ。  
あきえ えーニオイかぐでしょ、普通  
みさ えええー

りようこ、立ち上がり窓をあける。  
さとみも窓をあける。

みさ エアコン！  
りようこ 空気の入れ換え。

さとみ、窓をあけて、ほっと一息。

あきえ でも、なんかいいですね ……男がいるって。

間

一同 うーうーん。  
あきえ いやいやいや、ありでしょ。  
みさ うーうーん。  
みさ ま、いないよりはマシだけど。  
あきえ 彼女いるのかな。荒木くんって。  
みさ それってさ、マジな感じ？そんなに？  
あきえ はい！！！！  
みさ ホントに？  
あきえ (うなずく) せつかくのチャンスなんです。これを機にお付き合いとか！？  
みさ ダメだからね。男女の恋愛は禁止。生徒手帳に書いてある。  
あきえ ええー(しょんぼり)  
みさ でも、確かに、ビジュアル的には、まあ。背高いし、そこそこイケメンだし。  
あきえ あと、頭もすごいって、高1A男子。  
みさ 荒木くんも？  
あきえ かどうかは、ちょっと。  
みさ でもさ、成績なら、ウチのりようこにかなわないっての。ねー  
りようこ しらない。  
あきえ だってさ、この前の模試、数学は偏差値すごかったじゃん。

とわいわい盛り上がる女子高生。  
離れたところでさとみ。

さとみ ったく。それより大会どうするって話だろっての。最後の大会なのに。……(と、窓の下を見  
みさ 下ろす) …… あ、あれ？  
あきえ 何？  
みさ あれさ、 …… さっきの ……、だよね。  
あきえ え？  
さとみ 荒木……

さとみ、窓の下を指さす。

みんな窓際に寄ってくる。  
下を見る。

視線の先には、ゴミ袋を抱えた荒木。

だが、ここは3階。もちろん荒木の姿は舞台上では見えない。

みさ なんてあんなとこにいるの？

みやび ゴミ捨てるって言ったのに。

みさ ……何か、捜してません？

ころろ 迷ったんだよ、多分。ゴミ捨て場わかんなくて。

一同 はあ？？

りよこ ゴミ捨てに行くのに道迷うとか……。

さとみ 全然違うだろ！ そこじゃなくて、向こう！駐輪場の隣！！

みさ めっちゃ焦ってます。見つかんなくて

荒木を見て、わいわい言う女子高生。

さとみ もー！ー イライラするなー！ だから、向こう！！

一同 あ！

荒木、やらかした(らしい)。

さとみ 何してんだよ！！！！

ころろ 大変なことになってるね。

りよこ ゴミ袋の口、ちゃんとむすんでないから。

みさ 中学生に……笑われている。

さとみ 落ち着けて、マジで。

みさ ……ゴミ捨てるだけなのに。

さとみ 何してんだよ、落ち着けて！！、あ。

一同固まる。

みさ ……こっちみえます。

さとみ みんな声でかいから。

みさ どっちが。

みさ あの、……手、振ってますけど。 どーします？

間

ころろ いちおう……振っておく？ 手。

一同、顔を見合わせ、……ま、うん。

一同、手をふる。

音楽カットイン。

笑顔で手をふりながら。

りよこ バイバイ。もう帰ってこなくていいからね。  
すず えー それヒドい。  
りよこ 演劇部的に。男はいらぬ。  
さとみ ばいばい。  
こころ でもさ……すっごい嬉しそうだね。 荒木くん。

ストップモーション

音楽高まる。

転換。机椅子が動かされ、演劇部の練習風景に。

## 「シーンⅡ」

音楽カットアウト。

教室。

教室には演劇部の子たち

ちよつと離れて、女子高校生二人（友松・野口）、そして荒木。

荒木だけ、なぜかジャージ。ちよつと、ダサイ。

こころ （携帯見ながら）「ごめん、体調悪くて、しばらくお休みします。大会にむけて、頑張つてね！！そうそう、荒木くん、頑張ってるらしいね。大会楽しみにしてるよ。あや」

すず 中部先生って、あやつて名前だったんだ。

さとみ 知らなかったの？

すず 下の名前じゃ呼ばないでしょ、普通。先生なんだから。

さとみ そうだけどさ、顧問の名前ぐらい知るところよ。

こころ でさ、……しばらく休むって。

みさ 高1の国語、大変なことになってます。

こころ そりゃそうだ。でも、病気なら仕方がないよね。

みさ 夜中に急に倒れて。で、救急車で運ばれて。入院？

さとみ ……そうなんだ。

こころ ……全然知らなかった。

みさ という情報が、ゆう先輩から。

こころ ……あれ？ゆうは？

すず さつきからいなかったけど。

こころ そっか。

すず あのさ、逆にあれ（と野口・友松を見る）。

さとみ そ、あの二人。

一同、隅にいる野口・友松に注目。

あきえ、立ち上がって、二人を紹介

あきえ 見学したいっていうから、誘って。

野口 A組の野口みずきです。で、こっちは友松。ほら、自己紹介

友松 ……（もじもじ）

野口 ……同じA組の友松まことです。演劇部、前から興味あって、入りたいかなって。二人で。

一同 おおー！ー！ー！

さとみ そっかー 新入部員か。増えたね、人。

こころ あつきーがさつき聞いたらしいんだけど、二人は演劇部だったらしいよ。

すず へー！ そうなんだ。演劇部なんだー！

友松 みずきだけです。私は。

野口 そんなに上手くないです。ちよつと地元の劇団とかに出てるぐらいで。

すず すっげー！！！

野口 いえ、ほんとにそんな。

と、一同盛り上がっている。

さとみ いやー、いいねー！ー。こっただけ部員増えれば、私たちだけでなんとかなるでしょ。

一同、荒木を見る。

荒木、おずおずと立ち上がり、

荒木 ……あの、部活の格好はこんな感じで……動きやすい格好でって。  
さとみ いいんじゃない。  
荒木 でも、みなさん、……制服。  
こころ 今日はまだミーティングだから。……筋トレとか練習とかするときには、必要だけど。地区  
大会前とかになつて。  
荒木 あ、……そうなんですね。

荒木、座る。

女子高生、ひそひそと荒木のことを話している。

さとみ、こころの腕を引っ張り、教室の隅に連れてくる。

さとみ (どーするの)  
こころ (なにが?)  
さとみ (あれ「荒木」、……いれんの??)  
こころ (だってさ、学校がさ。それに……演劇部に入れるって言ってた中部先生、倒れちゃったし。  
……先生の思いを)  
さとみ (うそー マジでー ええー)  
りよこ コソコソしやべってないで、普通にしやべったら。聞こえてるし。  
さとみ あ、……うん。  
りよこ できこころ、ホントにさ、入れるのは。  
……でも、中部先生  
こころ ……でも、中部先生  
りよこ 今年は自分たちでやれって、言ってたでしょ。なら、別に気にする必要ないじゃん。  
こころ それに、ね。……みやびが。  
さとみ みやび??

みやび、教卓の前に立っている。

みやび あの、実は、台本のことなんだけど、……書き直したいって思ってるんだ。  
りよこ え、どういうこと? 今さら? もう9月になったんだよ?  
みやび それがさ、なんか前回はやっぱり気にくわなくて。面白くないっていうか。  
さとみ でもさ、書き直して言っても  
みやび 台本、別の書いたんだ。実は。  
一同 え?  
みやび で、これがパンフレット原稿の原案(と紙を配る)

一同、みやびから原案の紙を受け取る。

さとみ 「花よりロミオ」!  
りよこ なにこれ。

荒木、驚いて立ち上がる。

すず ロミオ… 荒木和佐  
荒木 いやいやいや、絶対無理ですよ!! なんて僕がロミオなんですか!?  
みやび だって、男は一人しかいないじゃん。  
荒木 でも、え、あ、……  
こころ これ、……シエークスピアの  
みやび ロミオとジュリエットを、日本の高校生のはかない恋愛話にした、っていう。  
一同 恋愛もの!?  
すず ロミオが荒木くん  
さとみ ジュリエット… 樋口 さとみ。

さとみと荒木、見つめ合う。

一同 おおおおー！  
さとみ いや、ない。これは、ない。だいたい、台本がロミオとジュリエットって時点でない。なんで、

そんなのやんなくちやいけないのよ。

みやび でもさ、そういう古典に取り組んでます、って、附設っぽくってよくない？

りよこ 附設……

さとみ でもさ、だからっていつて、これはない。こころ！！ これ。

こころ (聞いていない) みやび、これ、どうい話？

さとみ おい！！！！

こころ いや、なんかさ、このパンフレット原稿だと、面白そうかなって。

みやび だから、女の子だけだとさ、これ出来ないけど、……今年に男がいることなんだし。友情物じ

やなくて、恋愛物ができるかなって。

さとみ 反対してなかったけ、みやび。

みやび そりゃ女子だけがいいけど、……演劇で何をするかって言われたら、……こういうの、一度で

いいからやってみたかったんだ。空想じゃなくてリアルで

りよこ 演劇もリアルじゃないけど

さとみ 演劇もリアルじゃないけど？ ホントにいいんの？

さとみ、荒木を指さす。

荒木、頼りなげに立っていたが、……突然、みんなの前に。

荒木 あの、僕。

さとみ 何！

荒木 あの、頑張ります。僕。

さとみ は？

荒木 主役、……僕、頑張ります！！(と男らしいポーズ)。

さとみ いやいや、何やる気になってんだよ。

荒木 (ポーズを皆に見せる)

一同 おおおー！

荒木 よろしくお願いします。

さとみ、困惑。

さとみ えー まじで？ ってかさ、ホントにホントにホントに (指さす) 入れるの？

一同、「うーん」。

荒木 ……よろしくお願いします。

さとみ、大きくため息。

りよこ、パンフ原稿をじっと見つめたまま座っている。

こころ えーということ、今年度の地区大会は、みやびの台本でいこうってことに。

りよこ あのさ、……これ、面白くなかったら、しない。

こころ ……うん。

りよこ でも、どうなの、これ。

みやび それがさ、けつこういい感じに出来たと思ってるんだ、自分では。

すず とか言うのが多いよね、みやびって。

こころ じゃあさ、台本、一回みんなで読み合わせしよっか。

すず そうだね。

こころ じゃあ、みんな台本持って、

一同　はい。

台本を配る。なんとなくわらわらと集合。  
えー私何？　これ誰？　とか言いながら。

何となく、スタンバイ完了。

みやび　時間も一応計るってことで。　じゃ、いくよ。「花よりロミオ」(手を叩く)

こころ　ここは　ある　由緒正しき　街。古から続く二つの家。

どこからともなく、鐘の音が鳴り響く(効果音)。

こころ　二つの家の間には古い遺恨が、今もお。

そんな　敵どおしの家に生まれた若い男と女が、  
同じ教室で出会った、

悲しい恋の物語。

音楽カットイン

照明

場面転換　教室の中に作られた、「花よりロミオ」の一シーンのセット。

## 「シーンⅢ」

劇中劇。「花よりロミオ」

荒木が演じている姿を、さとみが見ている。

放課後、誰もいない教室、という設定。

一人、荒木がいる。

さとみの机のもとに手を置き、

音楽カットアウト。

荒木 あなたのことを思うと、ここに来てしまう。誰も居ない教室、この机。

さとみ、やってくる。

さとみ ガラガラっ（とドアを開けるマイム）

荒木 あ、あれは。我が恋人！！

さとみ、荒木に気がつかず荷物を持ち、黒板に向かう。  
チョークを手に、黒板に絵を描く。

荒木 ああ、私はあの人のチョークになりたい。そうしたら、私はあの人の思いを、胸の高まりを  
さとみ ああ、ロミオ あなたはなぜロミオなの？ その名前を、その家を、全て捨ててください。そ  
れが嫌なら、私の恋人だと、誓って。……そうしたら私もその名前を、喜んで捨てるのに。

荒木 すると、……ジュリエット。

さとみ その声は、……ロミオ？ どうして、  
（顔を出す）……ここに来れば……ジュリエットに会えるんじゃないかって。  
でも、もう下校時間はとくに……警備員さんとか、監視カメラとか、……ってか、ここ、女  
さとみ 子クラスの教室なのに。

荒木 この思いは、誰にも止められない。

さとみ ……うれしい。いつから、ここにいたの？

荒木 ずっと。放課後から、ずっと。

さとみ じゃあ、私の、……。恥ずかしい。

さとみ、駆け出そうとする。

荒木 ……誓うよ、恋人だって。

さとみ、振り返る。

さとみ 恋人。

荒木 そう、僕はジュリエットの恋人だって、（跪く）誓うよ。

さとみ 何に誓って下さるの？

荒木 月に誓って

さとみ それはダメ。移ろいゆく月に誓っても、そんな誓いなんて虚しいだけ。

荒木 じゃあ、何に誓えばいい？

さとみ 美しいあなた自身に誓ってください。……いや、それもダメ。誓いなんて破られるためにある  
ものだわ。この一時、この一瞬しか私たちにはないのだから。（携帯の着信音）お父様からだ  
わ。……帰らなくちゃ。

荒木 待って。



さとみ ……じゃあ。  
荒木 待つて！僕のジュリエット！！！

劇中劇、終わり。

照明戻る

さとみ で、出て行きます、と。 ……恋人。

荒木 すみません。

さとみ 役の上でね。

荒木 そ、それは、そうです。 あ、で、どうですか？ 僕。

さとみ 別に。

荒木 ……はい。

さとみ ……しいていうなら、……全体的に、もっと声だしいいかな。力強さというか、男らしさ、というか。

荒木 頑張ります。

さとみ 頑張ることじゃないけどね、男らしさつて。……でも、前に比べると、なかなかいいかんじになつてきたんじゃない。

荒木 マジですか！！

さとみ 声でか

荒木 いやー嬉しいです。僕、これ、毎日家でも練習してて、部屋とか、風呂場とか。あと、妹とかを相手に。そっかー え、よくなりました？いやー嬉しいな。

さとみ ……（引いてる）

荒木 でも、まだまだですよ。ロミオ、頑張ります！！（ポーズ）

さとみ ……頑張つて下さい。

荒木 はい！！あの、他の先輩達は？

さとみ 買い出し。

荒木 そうなんです。

荒木、発声練習している。

さとみ あのさ、……すっごい前から気になってたんだけど、これ、設定日本だね。日本なのに、「ロミオ」って名前……どうよ。

荒木 あ、言われてみれば。ロミオなんて人いないですもんね。

さとみ そこが違和感でさ。ジュリエットつて言われても、全然ピンとこないというか。あと、ロミオ、危ない人すぎるだろ。ジュリエットが持つてるチョークになりたいとか。

荒木 ロミジュリの有名なシーンだそうです。……ホントは「ジュリエットの手袋になりたい」つて言うらしいですけど。

さとみ ええー。てかさ、その前に、女子クラスに一人男がいるつてどう。ふつうさ、入らないでしょ、女子しかいないんだから ……あ。

間

さとみ あ……暑いね。

荒木 そうですね。

さとみ、スカートをはたはたとさせようとするが、荒木がいることを思い、途中で止める。

二人であることを意識する。

荒木 あの、……結婚するんですよ、僕たち。  
さとみ え！！

荒木 え、(間) ……いや、台本。  
さとみ あ、……あああ、結婚ね。そう、結婚するんだよ。名前をこえて、こつそりと。  
荒木 結婚かー。結婚とか、どういう感じなんだろ。さとみ先輩、どうです、結婚。  
さとみ いや、「どうです」とかいわれてもわかんないし。そもそも、付き合ったこともないから。  
荒木 すみません、なんか、先走って。  
さとみ いや、……うん。ってか、ここ女子高だから、出会いもないし、付き合うとか考えたこともなかったし。  
荒木 ……そうですね。  
さとみ それがさ、いきなり共学になって、それどーよって。  
荒木 はい。  
さとみ 荒木ってさ、なんで、入って来たの？附設。  
荒木 塾に行つて、その先生が、試しに受けてみるって。で、受かったから。周りの人達が。  
さとみ 自分で決めたんじゃないんだ。  
荒木 はい。  
さとみ ウチらは高校受験とかなないからさ、分かんなくて。……高校ってさ、自分がやりたいこととか、そんなので決めるんじゃないの？  
荒木 でも、僕、正直何になるかなんてよくわかんなくて。さとみ先輩は？  
さとみ 私も正直分かんない。大学行くとは思ってるけど、どこの大学行くのかも、行って何するかも。……大学で、金持ちの男つかまえて、玉の輿にでも乗るか  
荒木 じゃ、僕も玉の輿に、  
さとみ いやいやいやいや、ダメだろ、それ。  
荒木 何で？  
さとみ 男でしょ。  
荒木 はい。  
さとみ 結婚して、子ども ……つくって。 それで、家族を養っていくってのが、男でしょ。  
荒木 そうなんですか。  
さとみ そうでしょ、普通。 その為に、いい大学入ろうって附設入ったんでしょ？  
荒木 分かんないです、  
さとみ そういうもんでしょ、男って。  
荒木 そういうものなんですか？男って。  
さとみ ……たぶん。……男がさ、……やっぱ引つ張っていくってのは、そうだよ思うよ。男らしさ  
荒木 僕、やっぱ頼りないですか。  
さとみ うん。  
荒木 どうすればいいですか？  
さとみ え、あー。なんかさ、基本堂々とすればいいんだよ。  
荒木、 「男らしいポーズ」する。

間

さとみ みんな、帰ってこないな。  
荒木 あの、こんな時なんですけど、……お腹すきませんか？  
さとみ え、ああ、……減ったといえば、減ったかも。  
荒木 食べます？  
さとみ 何？

荒木、カバンをこそこそしてる。

荒木、そーつと弁当箱を取り出し、蓋を開ける。

荒木　クッキー作っただんです。どうぞ。  
さとみ　……どうも。

クッキー。  
さとみ、食べる。

荒木　どうですか？

さとみ　あ、うん。

荒木　……やっぱり、美味しくないですよ。すみません（と引っ込めようとする）

さとみ　いやさ、そうじゃなくて、これ、……以外と。

荒木　え、ホントに？

さとみ　あ、うん。……

荒木　ありがとうございます。えー　うれしいな、さとみ先輩に気に入ってもらえるなんて。いっばいあるから、食べて下さい！（と差し出す）

さとみ　あ、ども。

さとみ、クッキーを手にする。

荒木、近くでさとみを見ている。

さとみ、見られていて気まずくなってくる。

さとみ　あの、……

荒木とさとみ、視線が合う。

荒木　あ、……すみません。

荒木、恥ずかしそうに立ち上がる。

荒木　……先輩たち、遅いですね。

さとみ　……そうだね。

荒木　（独り言のように）男らしさか。

さとみ　そ。男なんだから、荒木は。

荒木　……はい。

荒木の携帯鳴る。

荒木　すみません。（携帯を見て）あ、……

さとみ　どうした？

荒木　あの、……ちよつと抜けていいですか？

さとみ　あーうん。別にいいけど。

荒木　すみません。じゃあ

とばたばたと出て行く荒木。

さとみ　なんだあれ。

あきえ、すず、みさ、こころ、りょうこ、帰ってくる。

すず　えー、朝起きたら、化粧水くらいはつけるでしょ。リップとかき、やっぱつけとかないと  
こころ　ただいまー　あれ？荒木は？

さとみ　なんか用あるとかで。これ残していった。

あきえ それ？  
さとみ クッキー。  
一同 ええー！ クッキー！？

一同、さとみが持つクッキーを食べる。

すず おいしー。これ、荒木が作ったの？  
さとみ うん。  
りよこ 買ったきたやつだよ。  
こころ でも、これはあきらかに、手作りだよ。  
さとみ でもさ、クッキー作って部活もつてくるって、どーよ。……男なのに。クッキー。  
一同 うー！  
すず でも、料理とか家事とかやってくれる男、欲しい。  
さとみ じぶんでしなよ。女でしょ。  
すず えー！ めんどいー  
りよこ でも、女だから家事しなくちゃいけないってのは、不公平だと思う。男だって家事するべきだ  
とそうし。  
こころ でも、ほら、女は子供産むから。  
さとみ そうそう。  
こころ 出産は男にはできないでしょ。結婚して、妊娠して、子供産む。女って、そういう風になつて  
るんだから。  
さとみ 結婚、……子供。(間) いやいやいや。  
こころ 今、仮に自分で想像してみたら、なんか、ね。  
さとみ 変なの。  
すず ……うん。  
さとみ あのさ、そろそろ、練習しない。荒木は？  
こころ あ、荒木は(とちよと焦る)帰った。用があるとかで。  
みさ 他は？  
さとみ みやび先輩も委員会とか言っていました。  
すず あの、あと、A組の……  
さとみ あ、そう！(さとみ) ねえ。  
さとみ そうだ。あつきー！！あの、ほら、誰だっけ 劇団出身の ……こないじゃん全然。こころ  
と二人で言ってたんだけど、練習しないと結構やばいつて  
なんか用があるとかで。  
あきえ やる気あんのか？  
すず 聞いておきます。  
あきえ 来なくても全然いいけどね。  
みさ ええーそれは  
みさ なんか、あの子たちつてさ、……やっぱりいいや。  
さとみ なになに？ なんかあるの？  
みさ いや、……特には、はい。  
りよこ ……  
さとみ 隠さなくっていいじゃん。え、何かあるの？  
みさ ……りようこ先輩。  
さとみ え、何、りようこなんか知ってるの？  
りよこ うん。……実は。

音楽カットイン。

照明

教室のセット、変わる。

## 「シーンⅣ」

放課後の教室

野口と友松が待っている。

携帯を持った荒木がやってくる。

野口に促され、友松、荒木に手を差し出す。

荒木、戸惑うが、……友松に手をのばして

公園（劇中劇）

ベンチにすわっているさとみ

横に座っているりよこ、うしろにみさ。

遠巻きに演劇部員が見ている。

みやび、手をたたく。

さとみ えー何、こんなところに呼び出して。どうしたの？そんな難しい顔しちゃってさ。部活のこと？  
りよこ （首を振る）ジュリエット、落ちて聞いて欲しいんだけど。ロミオと、……別れたほうがいいよ。

さとみ ……何言ってるの。  
りよこ ロミオはダメなんだって。

さとみ 何それ。え、どういうこと？なんでロミオのこと

りよこ 別れた方がいいって。それが……ジュリエットのためだって。二人で話してて。

さとみ （みさに）どういうこと？

みさ あの、この話、……ジュリエット先輩に言うかどうか、すっごい迷ったんですけど、……やっぱり先輩のことを思うと、

さとみ え、何、二人とも。いきなり呼び出して、これ、何。もったいつけないでさ、言つてよ、

りよこ ロミオ、女と歩いてた。

さとみ ……でもさ、ロミオだって普通にクラスの女の子と歩くだろうし。

みさ 手、繋いでました。それも、こう（恋人つなぎ）

りよこ それって、マジなやつじゃん。

みさ すみません。見るつもりなんてなかったんです。でも、昨日の放課後、教室に荷物を取りに行

ったら、……偶然。本当にすみません。

さとみ そんなの、ウソ……きつと、何かの見間違いで

みさ （制して）写メ、撮ってます。

みさ、携帯を見せる。

さとみ、携帯を見ながら

さとみ うそ……

りよこ 二股掛けられてるんだよ。……ジュリエット以外に彼女がいるんだって。

さとみ ……どうして。

りよこ でもさ、逆にさ、……まだ付き合ってますじゃん。……早くに分かったから、よかったよ。

さとみ もう、ロミオのこと、忘れた方がいいって。

さとみ どうして、ロミオ

みさ、去る

他の演劇部員同様、「花よりロミオ」を見る側にまわる。

りよこ 男なんて、そんなものなんだよ、ジュリエット。

りようこ、去る。(りようこも同様)

さとみ どうして。…誓ってくれたのに。

荒木出てくる(劇中劇)。

荒木 話を聞いてくれ、ジュリエット。

さとみ 聞きたくない。

荒木 ホントに、違うんだって。

さとみ

誰、相手。放課後、二人で歩いてたって。私、ロミオの恋人なんだよね?…嘘つき。他に女がいるんだ。私じゃない他の女。そうね、私こんなんだから、男みたいな女だから、そりゃ嫌われて当然か!!。

荒木 違う

さとみ 誰、相手? 知ってる人。

荒木 ……

さとみ え、知ってる人なんだ、…友達同士で二股なんて、…最悪。

荒木 でも、ジュリエットが思ってるようなことじゃないんだ。向こうが勝手に言ってるだけで

さとみ ……もう、いい。

さとみ、去ろうとする。

荒木、その手を掴む。

さとみ、逃げようとするが、荒木、しっかり握って離さない。

さとみ ……離して。

荒木 嫌だ。この手、絶対離さない。

さとみ 離して。

荒木 離さない。

さとみ 離して!!

荒木 ……

さとみ (ふりほどいて)話してよ、ホントのこと。私のこと、どう思ってるか。

荒木 ホントのことはただ一つだけだ、ジュリエット。僕は、あなたのことを思っている。…

それに、ホントのことを話さなくてはいけないのは、ジュリエット、あなたのほうじゃないのか。

さとみ 何それ。

荒木 聞いたよ、…いずれ結婚するってきめた人がいるって、…僕ではなく。

さとみ お父さんが勝手に。

荒木 でも、…そういうことなんだろ。

さとみ ……

荒木 僕と違う人と付き合って、…結婚して。そして幸せになるって。

さとみ そんなの、幸せじゃない。私は、あなたのことだけを思っている。

あきえ、食い入るようにみていたが、徐々に「芝居」であることを忘れていく。

荒木 僕もだよ、ジュリエット。この思いは、…出会った時から、決して変わることがない。信

さとみ ……うん。

荒木 ジュリエット、……僕は、君を 君だけを。  
さとみ はい。

荒木、さとみの手を握る。  
見つめ合う二人。

あきえ おおーーーーー

あきえ、興奮のピーク。つい立ち上がってしまった。

すず あつきー!!!!!!

劇中劇、終わり。  
照明戻る。

すず 何やってんの!!!!

あきえ つい興奮して。

すず 芝居だから、これ。

あきえ はい。すみません。

さとみ ここまで、何分？

みやび (実時間)

さとみ あと20分かー。この後は？

みやび んで、公園のベンチで、……二人が、そんな感じになっ

あきえ そんな感じ!?!?

みやび もう、うるさい!!

みやび で、愛を確かめ合った後に、ジュリエットはどうしたら、許嫁と別れられるかを、先生に相談

する。

さとみ 先生？先生に相談するの？

みやび 担任。化学の先生。で、仮死の薬を調べてもらう。それ飲んで、とりあえず死んだことにし

て、葬式を出し、生きかえって二人で駆け落ちを、と。

さとみ ちよつとありえない展開だね。

みやび 「ロミオとジュリエット」通りだよ

さとみ あ、そーなの。そんな話なんだ、ロミオとジュリエットって。

すず 駆け落ちとか、いいなー 私もしたい。

さとみ 相手がいればね。

荒木、急に立ち上がる。

荒木 あの、ちよつと、抜けていいですか。

さとみ あ、うん。どうしたの？

荒木 いえ、……別に。

荒木、慌てて出て行く。

すず ……駆け落ち？

さとみ まさか。

すず でも、最近しょっちゅう携帯みてる、荒木。

さとみ そうなんだ。

さとみ なんかあったのかな？ ……彼女できたとか？ リアルに。

間

一同 いやいやいやいやー

りよこ それはないでしょ。荒木だよ。  
すず 荒木だもんね。

さとみ ないか。

ころろ ま、ね。

さとみ でも、なんか怪しんだよね。練習しながら、別のこと考えてるみたいだし。

すず そうなんだ。

さとみ うん。なんか、頑張りますっていうわりにね。

りよこ 荒木だから。

一同、納得。

りよこ さて、続きやろうよ。  
みやび 仮死の薬をもらうジュリエット（手をたたく）。

化学実験室

照明

さとみ 先生、もう私、（泣き崩れる）

ころろ 落ち着いて、ジュリエット。

さとみ 大学、恋人、結婚、……幸せ。私の人生なのに、選べないなんておかしいと思いませんか。

ころろ お父さん？

さとみ 決まりだからって。……でも、おかしいと思うんです。このドレスも、スカートも、私、ホン

トは……女って、どうしてこうなんですか。どうして女は、自分の生きたいように生きられないんですか？ ねえ、どうして？

ころろ 落ち着いてジュリエット。

さとみ 私は落ち着いてます。ただ、本当に分からないんです。どうして、こんなことになっちゃったのか。私の人生なのに！ ねえ、先生、先生なら私に教えて下さい、どうしてなのかって。先生！

ころろ （首をふる）それは……

さとみ こんななら、わたし、もう、……死ぬしかない。

ころろ ジュリエット！

さとみ この身を捨て、天国でロミオと一緒になれば、私、それで。

ころろ ジュリエット、あなた、……ホントにその覚悟がある？ 全てを捨てる覚悟。

さとみ もちろん。ロミオの為なら、私。

ころろ ころろ、大きいため息をつき、机に向かう。

小さな瓶を取り出す。

ころろ ここにある小さな薬。

さとみ キレイ。宝石みたい。

ころろ 次亜塩素酸ナトリウムとクロロメタンとを400-500℃で加熱してフリーラジカルハロゲン化反応を起こしたの。ジュリエット、この薬を飲むと、あなたの身体は硬くなり、熱は奪われ魂は凍りつき、死者の仮面を身にまとう。でも、一日経てば元の通り。あなたは、晴れて自由の身になる。……でも、この薬を飲む覚悟が、……ある？

さとみ もちろん。ロミオと一緒になれるのなら。

ころろ （うなづく）

ころろ、さとみに「薬」を手渡す。

さとみ あの、ロミオはもちろん、このこと。

ころろ 私が話しておきます。だから大丈夫。



さとみ お願いします。

遠くで鐘の音がする。

演劇部員、去る

照明

さとみ ずっとところが一番ありえないな。現代の高校生が仮死状態って。病院いったらバレバレだろっての。ってか何作ってんだよ、あの先生。みやび！！

こころ、周りを見回すが周囲には誰もいない。

さとみ ……。

手にした「薬」をみつめるさとみ。

荒木、戻ってくる。

さとみ おおー！ どこ行ってたの。

荒木 ……職員室に。

さとみ あ、そうなんだ。……

荒木 ……僕、あの、実は 部活

さとみ ン？

荒木 ……なんでもないです。

さとみ ……ああ、でさ、これ、「仮死の薬」 これ飲んで死んだふりするんだって。ということ、(飲む) おやすみー ちゃんと迎えに来てね。

間

さとみ (寝ながら) ってさ、普通言うよね。

荒木 どういうことですか。

さとみ 大切な人だったら。 ロミオに。今から「死んだふり」しまーすって。じゃないと、……わかりあえないじゃん。

荒木 でも、……言えないこともあると思います。大切な人でも。

間

さとみ (体をおこして) え、どういうこと。

荒木 「ロミオとジュリエット」ではロミオは町から追放されてるんです。だから、ジュリエットが薬飲んでるって知らなくて、本当に死んじゃったって思い込んで。

さとみ だめじゃん。

荒木 で、自殺するんです。

さとみ なんだかなー

荒木 そういうすれ違いの悲劇です。 男と女の。

さとみ 好き同士なら、……うまくいけばいいのに。

荒木 ……

さとみ じゃ、ま、そういうことで、おやすみー！

愛しいロミオ様、  
なーんて。

荒木の携帯が鳴る。

荒木、携帯を見る。

寝ているさとみを見て　話しかけようとするが、……やめる。

荒木、さとみに向かって、　深く札をし、　去っていく。

教室の入り口で、　荒木はふり返る

音楽カットイン

しかし、荒木は、……そのまま、去っていった

どれくらい時間が経ったのだろう。

ジュリエットは待っている。

でも、

ロミオはこない。

すずが駆け込んでくる。

すず　さとみ！！！！

さとみ、寝ている。

すず　（駆け寄って）さとみ！！！！

さとみ　なに……せつかく死んだのに。

すず　荒木、部活やめるって。

さとみ　え？

音楽高まる

照明

# 「シーンⅤ」

照明

音楽

教室

雑然としている。

さとみ、こころ、りょうこ、すず、あきえ、みやび、ゆう

中部先生がその真ん中に立っている。

音楽カットアウト。

中部 荒木君は、演劇部をやめました。

間

一同 えええー！

こころ どういうことですか？ なんで？

すず ホントにやめたんですか？ ホントに？

みやび どうしてそんな。

中部 わたしも今日聞いてびっくりしてて。

こころ 理由を聞かせて下さい。

中部 私に言われても、ねえ。

こころ でも、このままじゃ地区大会も出られないし。台本。

みやび 練習頑張ったのに。……今更

中部 そう、それなの。パンフレット原稿も出しちゃったし、……事務局の阿部先生に、今から演目

変更可能かどうか、聞いてみなくちゃと思ってる。それとも荒木君なしでこの台本やる？

みやび それは、……キャスト的に無理です。

中部 じゃあ、どうしようかー！ 今年は出場辞退？

ゆう 私はしたい！！

あきえ 私も！！

中部 でも、このままじゃ

こころ 私達、……附設は、演劇部全員が芝居に出るってことで、……照明とか音響とかも掛け持ちし

て。……たしかに台詞すくない人とかいるけど、……一年のみさちゃんも、あつきーも、全員

出そうってことで。だから、……今からみんな考えます。

中部 分かった。じゃあ、職員室にいるから。

さとみ あの……先生、今日もエアコン……あ、…… やっぱいいです。 もうそんなに暑くない

から。

中部 わかった。

りょうこ そういえば先生、……身体の調子はどうですか。入院してたって。

中部 え？どうして、それ。秘密にしておいたのに。

みさ 救急車で運ばれたって。結構噂に。

りょうこ どこ、悪かったんですか？

中部、お腹に手を当てる。

すず おなか、どうかしたんですか？

中部 (首をふって) 子ども。今3ヶ月。

一同 ええええー！

中部　でも、もう大丈夫だって言われているから。激しい運動とかはできないけど。  
……先生、結婚してましたっけ。  
中部　（首をふる）だから、これを機に。中部あや、結婚します！！　そして、しばらくは先生をお休みします。

一同　……  
中部　じゃあ、何かあったら、職員室に。

先生、嬉しそうに去る。

さとみ　妊娠。

あきえ　そうなんだ。知ってた？

みさ　まさか。

さとみ　子ども、産むんだ、中部先生。……結婚して。

各自、自分が「母親」になることを思う。

さとみ　そんなこと、全然考えてなかったね。

一同、うなづく。

こころ　でさ、……どうする、地区大会。  
無理！！今年はまだ無理だよ。だってあと一ヶ月ないんだよ。今から台本作って、キャスト

決めて練習して……無理だよ。

こころ　でも、頑張って今年も。

すず　なんで、荒木くんやめたんだろ。　あんなに一生懸命だったのに。

さとみ　……知らないの

すず　え、何？

りよこ　やめさせられたんだって、演劇部。学校に

あきえ　どういうことですか???

さとみ　同じ部活の子と付き合ってた、……で、その親からクレームが来たって。　「附設は男女交際

を認めるのか！」って。で、部活から男を追い出せって。

すず　なにそれ。ってか誰　演劇部？　この中の。

みさ　A組の。

あきえ　ええー　うそー　付き合ってるの??　みずき？

みさ　じゃないほう。もう一人の。

問

すず　そうだったんだ。知らなかった。

みさ　一年の間では、……結構有名な話で。で、その女の子の親が。

さとみ　でもさ、……あの子たち、演劇部全然来てなかったじゃん。　……一応キャストには入れてた

りよこ　けど。

……迷惑。

さとみ　だよ、演劇部じゃないのに、かき回すだけかき回して。

りよこ　じゃなくて、荒木。

さとみ　あ、……うん。

りよこ　やっぱり男ってダメなんだよ。絶対こうなるもん。　だから最初から入れない方がよかったん

だ。

こころ　でもさ、……付き合ったくらいで、……クレーム言う親とか、学校も、ちよつとどうかと思う

んだけど、私は。

すず　そうだよ。付き合ってたくらいで部活やめさせなくても。

りよこ　あのさ、荒木のことは忘れてさ、これからどうするか、ってことだけ考えよ。じゃないと、ホ

ントに大会出られないよ。

ころろ ……うん。  
りよこ みんなでさ、また、一から頑張ろうよ。地区大会。さて、今日は、台本のミーティング？  
ころろ そうだね。……まずは、台本をどうするかってことを……考えないと。

一同、ばらばらに座る。

ころろ 台本どうしようか。  
みやび ……男だれかいないかな。そしたら、今ので  
りよこ みやび！  
みやび ごめん。

一同ため息。

すず だんだん、……腹立ってきた。  
りよこ でしょ。せっかくこここまでやっておきながら。台無しにして。  
ゆう あの 荒木君は、……友松さんに付き合ってくださいっていわれて、……断れなくて、仕方なく、って。

りよこ 何でそんなこと知ってるの？

ゆう 一年生からの情報。でも、他にホントは好きな人がいるって ……で、それが、友松さんには  
れて、二股！！みたいなの。

りよこ 断れなくて付き合っちゃった、って時点で男としてはダメだろうっての。

ころろ たぶんさ、……荒木、断らないのが男らしいと思っただよ。

すず 優柔不断なだけじゃん。好きな人いたら、……断れっての。

あきえ 私だったら、……断られたらツライから、……付き合っただけいい！！

すず 二股でも？

あきえ それはダメ。

みさ わがまま  
あきえ だってー！私、やっぱりかまって欲しいっていうか

わいわいと盛り上がる女子高生。

さとみ、窓の外を見てる。

さとみ、窓をあける。

窓の外を、じっと見つめるさとみ。

さとみ ……でもさ、……荒木なりにさ、頑張ってたんだよ、男としてさ。

その声は、だれにも届かない。

風が、教室を吹き抜けていく。

ふと、

さとみ、窓の外に気付く。

さとみ あ…… 荒木だ。  
りよこ え

さとみ、荒木を指さす。  
一同、窓に駆け寄る。

間

かず      なんてあんなどこにいるの？  
あきえ      ゴミ捨て？  
りよこ      (首を振る) 持っていないじゃん、ゴミ袋。  
みさ      こっち、見てますね。  
こころ      ……うん。

間

こころ      、

一同、さとみを見る。

こころ      さとみ、 ……手、振ってるよ。

音楽カットイン

さとみ、荒木を見ている。

さとみ      荒木。 ……あらき————— (大声)

さとみ、手を振る。  
精一杯、力の限り。

そんな、さとみを

ジュリエットをおいて、

ロミオは去ってゆく。

暗転。

## 「エピソード」

放課後の教室

机・椅子が整然と並んでいる。

秋の気配が漂い始めている。

さとみ、携帯を見ている。

そこに、ころろがやってくる。

ころろ 早いね。

さとみ まーね。いろいろ考えてたから。

ころろ ふーーん。

ころろ、机に座る。

さとみ ころろ、みやびの台本、どうなってる？

ころろ ……。

さとみ ホールスタッフに送るのは結局いつまで？

ころろ 全体打ち合わせの時までに出来ればいいって。あと題名もその時まで変更可能だって。阿部先生が。

さとみ そうなんだ。でもさ、…それって、今度の火曜日だよ。間に合う？

さとみ みやびは勉強捨てて、頑張ってるけど。どうかな。

ころろ 今度の台本はどんなの？

さとみ なんか、理不尽な学校にみんなで立ち向かう！ みたいな。

さとみ えー

ころろ 「学園戦隊スクールレンジャーZ」！！で、聡美がレッド。リーダー。

さとみ リーダー 私？また台詞多くない？ この前のも結構覚えるの大変だったんだから。

ころろ まあまあ。で、敵とかも含めて、一年も全員だすってことで書いてるって。

さとみ そっか。パンフレット原稿は？

ころろ そっちは間に合わなかったから、「花よりロミオ」のまま。

ころろ、さとみに見せる。

さとみ ロミオとジュリエットかと思って見てたら、戦隊物始まった！！ てならない？

ころろ それは、仕方ないでしょ。今回は…あんなことがあったんだから。

ころろ まーね。

間

さとみ 荒木

ころろ 学校で見かけないね。

さとみ うん。

ころろ 14人しかいないからね、女は1000人もいるのに

間

ころろ 元気にしてるかな。

さとみ ……たぶん。

間

さとみ あのさ、こころ、……うまく言えないんだけど、……男ってさ、……りょうこが言うように、やっぱりよくわかんないものだよ。

こころ 荒木が、じゃなくて。

さとみ うん。男ってさ、……もお、訳わかんない。

こころ そ？

さとみ そ。 でもさ、 だからさ、 （パンフレットを見る）これ、やりたかったね。

こころ うん。

さとみ いつか、やるか。 来年？

こころ 高3になってるっての。……あ、でも、さとみは留年して来年も高2

さとみ くら、それ、しゃれになんない。定期の勉強まだ全然してないのに！日本史とか、英語とか

こころ いいなー もう一回高2出来るなんて、うらやましいなー

さとみ 絶対留年とかしない！ 高3になって、大学はいる！ で、その後は

こころのメール着信音。

こころ あ。みやびからだ。（携帯を開く）台本のことだって。ちよつと行ってくるね。

さとみ はーい。

こころ去る。

間

さとみ 勉強して、高3になって、勉強して、大学入って。で、その後は？ ……結婚して、子ども産

んで……って そうなのかな、わたし。

パンフレット原稿みる。

さとみ おい、 わかんないぞ、 女も。

さとみ、 ゆっくり立ち上がる。

さとみ がんばろう、私。

音楽カットイン「走れ！！」（ももいろクローバーZ）

徐々に音楽高まって

終わり。

□参考 「ロミオとジュリエット」（Wシエークスピア）